

大船渡と釜石の両市区間で活動を実施 第3回「JATAの道」プロジェクト、110人が参加

JATAは10月28日と29日の両日、東北復興支援事業として第3回「JATAの道」プロジェクトを、岩手県大船渡市と釜石市の両区間で実施しました。

このプロジェクトは、2014年4月から東日本大震災の発生10年後の2021年3月までの7年間にわたって、環境省が設定する東北地方太平洋沿岸地域の「みちのく潮風トレイル」コース全地区で、トレイルの整備を通じた復興支援を行うとともに、新しい東北観光の実現に向けて活動を行うものです。

3回目となる今回は、岩手県大船渡市と釜石市の区間で、みちのく潮風トレイ



第3回 JATAの道プロジェクト
みちのく潮風トレイル 釜石市案内板除幕式

釜石市で行われた「みちのく潮風トレイル」案内板除幕式

ルの一部での散策と東日本大震災からの復興状況や観光素材の視察を行いました。

JATA国内旅行推進委員会の委員長も務める戸川和良JATA副会長を団長に、首都圏と東北地区のJATA会員旅行会社26社の役員社員など62人が参加したほか、環境省からも自然環境局国立公園課の岡本光之課長をはじめ、東北地方環境事務所の職員ら5人が同行しました。

田川会長ら14人が極東ロシアを視察 商品企画、素材開発で現地側と意見交換

JATAは11月1日から5日までの5日間にわたり、田川博己会長はじめ14人が参加したミッションを極東ロシアに派遣して、現地の視察を実施しました。

視察団の派遣は、観光庁公示案件に基づくロシアとの双方向交流拡大策におけるアウトバウンド調査事業の一環で、二行はハバロフスクとウラジオストクを訪れています。

11月4日にウラジオストクのアストリアホテルで開催された公式意見交換会には、ロシア側から沿海州観光局のシエスタコフ観光局長をはじめ官民の旅行業界関係者19人、日本側から視察団の14人が出席。

田川会長が、「一番近いヨーロッパ」であるロ

大船渡市と釜石市、沿岸広域振興局や地元観光関係者などを含めると、過去最高となる総勢110人が参加し、「JATAの道」プロジェクトに対する期待の高さをうかがわせるものとなりました。

今回の活動のうち、大船渡市中南部ルート(碓石海岸ウォーク)では、県内一の規模を誇る大船渡港、岬岩や島洞穴が続く荒々しい絶景を誇る碓石海岸と季節の草花など見所が続くコースの一部を散策しています。

また、被災地での起業成功モデルを目指

シア極東地域について双方の民間レベルによる意見交換を通じて新しい旅を創出したとコメントしたのに続き、事務局から日本マーケットについての説明を行い、ロシア側に具体的なPR推進策を実施するよう要望しています。

ロシア

側からは、

沿海州の

観光情報

について説

明が行われ、ウラジ



11月5日に行われた沿海州州政府顧問との会談



今回の活動には100人以上が参加しました(根岸海岸・宝来館前で)

している米崎(リンゴ園)と水産加工会社の2つの事業を見学。何れも、訪日インバウンド旅行者向けの観光素材としても期待できるもので、参加者らは震災後の起業プロセスなどについて興味深そうに聞き入っていました。

港のクルーズ事情や送客誘致などについてもコメントがありました。

また、翌日に沿海州政府事務所で開かれた公式会談には、在ウラジオストク日本総領事館の笠井達彦総領事も参加。席上田川会長が極東ロシア地域について「近いことに意味がある」と指摘して、「潜在能力を活かすことができる」という認識を示し、民間と行政で役割分担を明確にした上で、施策を講じる必要があると強調しています。

JATAでは、今回の視察を通じて明らかになった課題の検討や現地側からの要望事項のとりまとめなどを行い、年度内にワーキンググループを開催して極東ロシア方面への企画商品の立案に取り組みむほか、モスクワやサンクトペテルブルグを含むロシア全土への商品拡大やプロモーション活動を継続していく予定です。

レゴブロックの熊本城と支援金を贈呈 熊本市長「復興ツーリズムで立ち上がる」

JATAと日本観光振興協会(日観振)は11月10日、今年9月に開催された「ツーリズムEXPOジャパン2016」会場で作られたレゴ(R)ブロックによる熊本城を熊本市に寄贈しました。

これは、今年4月に発生した熊本地震からの観光復興支援として、「ツーリズムEXPOジャパン2016」会場で来場者の寄付を通じてレゴブロックの熊本城を制作したもので、熊本市の熊本城桜の馬場城彩苑で開かれた贈呈式では、田川博己JATA会長が同市の大西史市長にJATA会員会社ならびに観光関係団体からの支援金も併せて贈っています。

贈呈式には、田川会長とともに日観振の山口範雄会長やレゴブロックによる熊本城を實際に制作した世界に13人しかいないレゴ(R)認定プロビルダーの三井淳平氏も出席しました。

贈呈式で登壇した大西市長は熊本城の復旧について、「熊本市民の心の復興につながるという思いで取り組んでいる」と語り、「熊本城のレゴブロックに書かれたメッセージと7万以上のピースに込められた思いは、素晴らしいプレゼント。地震の影響で九州全体に大きな影響が出ているが、復興ツーリズムとして観光の力で立ち上がっていく」と決意を示しています。

パリ観光の復活に向けてコンサート 安心して旅行できることをアピール

グローバルユースビューローは11月3日、パリのセルガポー劇場(1000席)で加藤登紀子さんによる「エディット・ピアフ生誕100年記念コンサート IN Paris」を開催しました。

同劇場の貸し切りで開催されたコンサートは、今年2月に来日したパリ市のアンヌ・イタルゴ市長との意見交換の際、同社側から「パリへの観光は単に価格を下げた企画旅行だけでは安心感を旅行者に与えることは難しい」と伝えたことを踏まえ、パリへ安心して旅行できることを、マスクミを通じて広く日本国内に周知するために企画されたものです。

昨年11月に発生したパリでの同時多発テロ事件から1年が経過し、依然として日本人旅行者の動きが低迷していることから、フランスや欧州への需要復活に向けて旅行業界には一層の知恵と工夫と努力が求められています。



ステージに登場した歌手の加藤登紀子さん

北海道支部

- 11月7日 国内旅行委員会。
- 11月28日 総務委員会。
- 11月29日 役員会(幹事会)。
- 12月1日 訪日旅行委員会。
- 12月2日 第10回「コンプライアンス・セミナー in札幌」。
- 12月5日 海外旅行委員会。
- 12月7日 教育旅行小委員会。

東北支部

- 11月21日 国内旅行委員会、東北六県バス協会連合会との意見交換会。

関東支部

- 10月20日〜24日 海外旅行委員会研修旅行(ロシア)。
- 11月17日 国内旅行委員会。
- 11月25日 総務委員会。
- 11月29日 幹事会。
- 12月2日 インバウンド委員会。
- 12月6日 LADY JATA委員会。
- 12月8日 海外旅行委員会。

中部支部

- 10月19日 総務消費相談委員会。
- 10月20日 支部幹事会。
- 10月27日 第4回三浦ゼミ「クレーム対応講座」。
- 10月28日 空港委員会。
- 10月29日 自然環境保全活動「藤前干潟クリーン大作戦」。
- 11月9日 海外旅行委員会。

- 11月10日 国内地域振興委員会。
- 11月15日 研修委員会。
- 11月16日 苦情対応セミナー(静岡)。
- 11月17日 苦情対応セミナー(名古屋)。
- 11月18日 苦情対応セミナー(金沢)。
- 11月24日 第5回三浦ゼミ「クレーム対応講座」。
- 12月2日 支部幹事会。
- 12月9日 リスクマネジメントセミナー。

関西支部

- 10月28日〜29日 消費者相談委員会。
- 11月17日 消費者相談委員会。

中四国支部

- 10月21日 「クアンタムオブザシー」船内見学会。
- 11月2日 着地型旅行研究会。

九州支部

- 10月15日 学生対象の海外訪日旅行企画提案コンテストの最終審査会。
- 10月21日 H28年度クルーズセミナーCCコース。120人が参加。
- 10月26日 実務委員会。
- 10月28日 総務委員会。
- 11月4日 国内旅行委員会。
- 12月7日 国際旅行委員会。
- 12月9日 消費者相談委員会。
- 12月9日 海外旅行委員会。
- 12月9日 実務委員会。

沖縄支部

- 10月24日 幹事会。